



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 クオリップス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4894 URL <http://cuorips.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草薙 尊之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 井上 学 TEL 03-6231-0043  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3	-	△133	-	△167	-	△166	-
2023年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△28.38	-
2023年3月期第1四半期	-	-

(注) 1. 2023年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の数値及び2024年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,072	5,925	97.4
2023年3月期	3,587	3,453	95.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 5,915百万円 2023年3月期 3,437百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	00.00	-	00.00	00.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	00.00	-	00.00	00.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215	461.7	△1,210	-	△1,246	-	△1,249	-	△174.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	7,574,316株	2023年3月期	5,676,366株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	15,664株	2023年3月期	15,664株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	5,882,183株	2023年3月期1Q	—株

(注) 2023年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明資料の入手方法)

当社は、2023年8月17日（木）に機関投資家・アナリスト・マスコミ向けに、2023年8月23日（水）に個人投資家向けに四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、2023年8月17日（木）の機関投資家・アナリスト・マスコミ向け四半期決算説明会の開催後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、景気の持ち直しがみられました。しかしながら、各国の金融政策の引き締めによる景気後退懸念や為替相場の急激な変動等もあり、依然として当社を取り巻く経営環境は不透明な状況が続いております。

当社は、虚血性心疾患（ICM）による重症心不全を適応症とするヒトiPS細胞由来心筋細胞シートの製造販売承認の取得に向け、大阪大学が実施する医師主導治験を継続して支援しております。同医師主導治験は、予定していた8症例の被験者に対する移植が2023年3月に完了しており、当第1四半期累計期間においては、26週の有効性評価と52週までの安全性評価を実施しています。また、製造販売承認申請に向け、申請書類の作成を始めました。

現在、その有効性や安全性を評価している段階にありますが、大阪大学の研究チームが第1症例目を対象に有効性及び安全性について解析した結果、肯定的な評価を示唆する論文を発表しております。

( <https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2021.12.27.21268295v1.full> )

本論文では、移植後にヒトiPS細胞由来心筋細胞シートに関連する有害事象は認められず、また、心機能だけでなく、運動耐容能も改善し得る可能性が示唆されています。

本論文は、2022年8月2日に「Frontiers in Cardiovascular Medicine」誌の査読後に掲載が認められ、より詳細な情報を含んだ上で、公開されております。

( <https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fcvm.2022.950829/abstract> )

虚血性心疾患（ICM）の他に、大阪大学は、ヒトiPS細胞由来心筋細胞シートに拡張型心疾患（DCM）を効能追加するための研究開発を進めています。拡張型心疾患（DCM）の研究開発は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和5年度「再生医療等実用化研究事業」として採択されています（公募課題「拡張型心筋症に対するヒト（同種）iPS細胞由来心筋細胞シートを用いた臨床試験」）。当社は分担機関としてその一部の研究開発の再委託を大阪大学から受けており、大阪大学が進める臨床試験のプロトコル設計の支援等を行っております。

その他の研究開発活動におきましては、ヒトiPS細胞由来心筋細胞シートに続く新たな研究開発パイプラインの製品化に向けた取り組みを行いました。当第1四半期累計期間においては、主に、①カテーテル、②体内再生因子誘導剤、③虚血性心筋症(海外)に関する研究開発活動を進めてまいりました。

#### ①カテーテル

カテーテルによる新たな血管内アプローチでヒトiPS細胞由来心筋細胞を心臓へ移植する治療技術について、朝日インテック株式会社（本社：愛知県瀬戸市）と共同研究開発を進めております。循環器内科医が急性心筋梗塞（AMI）・慢性完全閉塞性病変（CTO）等の経皮的冠動脈インターベンション（PCI）時に、開胸等の新たな侵襲を患者に加えることなく心機能の回復を高めるための治療技術の開発を行っております。当第1四半期累計期間においては、カテーテルを通じて投与する細胞の開発を行い、小動物を用いた非臨床試験で薬効を確認いたしました。また、朝日インテック株式会社との共同研究では、大動物を用いた非臨床試験を行っております。

#### ②体内再生因子誘導剤

オキシム誘導体（YS-1301）の低用量使用により体内再生因子（HGF、VEGF、SDF-1、HMGB1等）が誘導される薬理作用に基づき、細胞保護、抗線維化、抗炎症作用による血管新生、組織再生が期待されます。肝硬変・非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、閉塞性動脈硬化症（ASO）、慢性腎不全（CKD）、慢性閉塞性肺疾患（COPD）等への治療薬としての開発を目指します。小野薬品工業株式会社及び株式会社カルディオより物質特許・ノウハウ等の承継を完了しており、ターゲット疾患の薬効メカニズム検証・製剤開発を進めております。大阪大学との探索研究が進んでいる他、名古屋大学との間で当該薬剤提供に関する契約も締結しております。また、複数のアカデミアによる探索研究の準備を進めているとともに、並行して開発パートナーの探索を進めております。

## ③虚血性心筋症（海外）

上記ヒトiPS細胞由来心筋細胞シートについて、日本国内だけでなく販売地域を拡大し、アメリカ及び欧州で製造販売承認の取得を計画しております。現在は、海外での開発拠点の準備・体制整備、開発プランの策定及びアライアンス先の選定を行っております。

売上高については、製造開発受託サービス（CDMOサービス）に係る売上を計上いたしました。また、第2四半期会計期間から開始予定である複数の契約について、得意先との協議や業務体制の整備を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高3,900千円、営業損失133,723千円、経常損失167,530千円、四半期純損失166,958千円となりました。

当第1四半期累計期間において発生した研究開発費（総額）は150,907千円でありましたが、当社は共同研究開発のパートナー企業から共同研究開発費（以下、共同研究開発費受入額）を受領しており、共同研究開発費受入額を控除した金額46,705千円を販売費及び一般管理費において研究開発費として計上しております。

なお、当社は、再生医療等製品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産の残高は、前事業年度末に比べ2,499,627千円増加し、5,477,029千円となりました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資により現金及び預金が2,495,471千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ15,026千円減少し、594,988千円となりました。これは主に、減価償却費の計上によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ2,484,600千円増加し、6,072,018千円となりました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債の残高は、前事業年度末に比べ12,870千円増加し、110,295千円となりました。これは主に、未払法人税等が7,975千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ356千円減少し、36,013千円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ12,514千円増加し、146,308千円となりました。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末に比べ2,472,086千円増加し、5,925,709千円となりました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,219,920千円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年6月27日の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,941,896	5,437,368
売掛金	2,575	3,564
棚卸資産	4,738	5,343
その他	28,191	30,754
流動資産合計	2,977,402	5,477,029
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	430,124	421,201
その他(純額)	132,022	125,579
有形固定資産合計	562,147	546,780
無形固定資産	5,500	6,645
投資その他の資産	42,368	41,562
固定資産合計	610,015	594,988
資産合計	3,587,417	6,072,018
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	55,248	59,176
未払法人税等	2,850	10,825
預り金	39,326	40,293
流動負債合計	97,425	110,295
固定負債		
繰延税金負債	8,003	7,629
資産除去債務	28,365	28,383
固定負債合計	36,369	36,013
負債合計	133,794	146,308
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	1,332,779
資本剰余金	4,908,744	6,231,524
利益剰余金	△1,469,955	△1,636,913
自己株式	△11,748	△11,748
株主資本合計	3,437,041	5,915,642
新株予約権	16,582	10,066
純資産合計	3,453,623	5,925,709
負債純資産合計	3,587,417	6,072,018

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,900
売上原価	2,753
売上総利益	1,146
販売費及び一般管理費	134,870
営業損失(△)	△133,723
営業外収益	
受取利息	2
その他	0
営業外収益合計	2
営業外費用	
上場関連費用	18,549
株式交付費	15,259
営業外費用合計	33,809
経常損失(△)	△167,530
特別利益	
新株予約権戻入益	1,105
特別利益合計	1,105
税引前四半期純損失(△)	△166,424
法人税等合計	533
四半期純損失(△)	△166,958

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月27日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。上場にあたり、2023年6月26日を払込期日とする公募による新株式の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,219,920千円増加しております。

また、当社が2021年10月11日に発行した第1回新株予約権及び2022年8月12日に発行した第3回新株予約権の一部について権利行使されたことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ102,859千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が1,332,779千円、資本剰余金が6,231,524千円となっております。

(重要な後発事象)

第三者割当による新株式の発行

当社は、2023年6月27日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2023年5月23日及び2023年6月8日開催の取締役会において、野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を以下のとおり決議し、2023年7月25日に払込が完了いたしました。

① 募集方法	: 第三者割当 (オーバーアロットメントによる売出し)
② 発行する株式の種類及び数	: 普通株式 293,800株
③ 割当価格	: 1株につき 1,435.20円
④ 資本組入額	: 1株につき 717.60円
⑤ 割当価格の総額	: 421,661千円
⑥ 資本組入額の総額	: 210,830千円
⑦ 払込期日	: 2023年7月25日
⑧ 割当先	: 野村証券株式会社
⑨ 資金の用途	: 運転資金及び設備資金